

(6) その他

- ・口頭試問の日時および審査結果（学位授与の可否）については、別途通知します。
- ・学位申請後、審査期間中に住所を変更した場合には、必ず大学院課人間社会研究科担当（現代福祉学部事務課）に届け出てください。

論文博士

(1) 論文提出

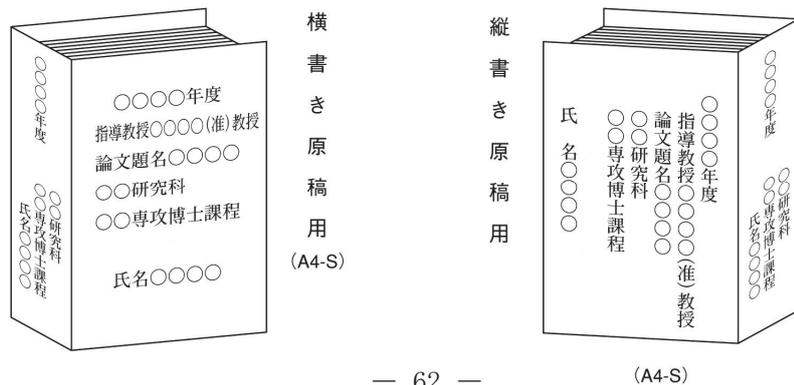
- a. 提出期間 2021年5月6日（木）～5月10日（月）
- b. 提出場所 多摩事務部大学院課人間社会研究科担当（現代福祉学部事務課）
（多摩キャンパス現代福祉学部棟1階）
- c. 提出書類

提出書類	部数	備考
①博士学位申請書（論文博士）	4部	指定用紙【様式1】
②博士論文目録	4部	指定用紙【様式2】
③学位申請論文（製本したもの）	4部（製本）	市販のフラットファイル（A4サイズ、色は自由）に綴じる。※下図参照。
④論文要旨（4,000字以内）	4部	指定用紙【様式3】
⑤英文要旨	4部	④に準じたものの英訳または英文アブストラクト
⑥論文のデータファイル	1部（1枚）	CD-R データ形式指定
⑦履歴書	4部	指定用紙【様式4】
⑧研究業績	4部	指定用紙【様式5】
⑨副論文目録（必要に応じて）	4部	指定用紙【様式6】
⑩副論文（必要に応じて）	4部	
⑪電子公開複写承諾書	1部	指定用紙【様式7】
⑫電子公開に関する報告書	1部	指定用紙【様式8】
⑬住民票（論文博士のみ提出）	1部	
⑭最終学歴証明書（論文博士のみ提出）	1部	卒業証明書、修了証明書、学位証明書等を指します。

- *論文のデータファイルは、提出するCDケースおよびCD-R本体に「論文題名」と「氏名」を記載してください。
- *論文のデータファイルは、PDF形式での提出を必須とします。
- *論文のデータファイルの1ページ目には、「法政大学審査学位論文」の文字と「論文題目」と「氏名」を記載した表紙データを収めてください。
- *「副論文」とは、本論文と内容的に深い関連があり、本論文の審査の一部として提出する論文を指します。（提出は任意）

(2) 論文の作成基準

審査のため提出する論文は著書として製本されている場合を除き、原稿のサイズはA4判とし、**下図を参照して市販のフラットファイル（A4サイズ、色は自由）に綴じて提出してください。**



(3) 論文受理審査

論文提出後、論文受理審査委員会にて論文受理審査（1次、2次）を行います。

1次審査を通過した場合に論文受理審査発表会を博士論文各年次発表会と同日に実施します。

2次審査を通過した場合に論文受理が決定し、論文審査が開始されます。

(4) 論文審査

論文受理決定後、博士論文審査委員会を発足し、1年以内に審査（口述試験等の実施を含む）を行います。

(5) その他

- ・口頭試問の日時および審査結果（学位授与の可否）については、別途指示します。
- ・学位申請後、審査期間中に住所を変更した場合には、必ず大学院課人間社会研究科担当（現代福祉学部事務課）に届け出てください。

課程博士・論文博士共通

(1) 審査料

受理が決定した後に、所定の振込用紙をお渡ししますので下記金額を納入してください。

- ① 本学博士後期課程3年次に在学中で、所定の科目を履修済または履修見込みの者 無料
- ② 本学博士後期課程に3年以上在学し、所定の科目を履修した後、退学して3年以内の者 11万円
- ③ 上記以外の者が博士の学位を申請する場合 22万円 ただし、本学専任教職員は 11万円

(2) 学位の授与

論文審査および最終試験に合格すれば3月または9月（課程博士のみ）に学位が授与されます。（9月授与を希望する場合は、指導教員に相談のうえ事務課にお問い合わせください。）

(3) 論文のインターネット公表

2013年4月1日から学位規則の一部を改正する省令が施行され、論文のインターネット公表が義務化されました。論文はインターネットによる全文公表が前提です（本学学位規則第29条）。学位が授与された博士論文は、学位授与後1年以内に、法政大学学術機関リポジトリを経由してインターネット上に公開され、国立国会図書館にも収蔵されます。

申請時のデータファイルから変更がある場合は、9月修了者は9月15日、3月修了者は3月24日までにCD-Rにて最終版のデータファイルを提出してください。

(4) 論文の保存

論文は本人用のほか、法政大学図書館、現代福祉学部資料室に永久保存され、また論文審査の主査・副査と外部副査にも提出するため、製本業者により上製本（ハードカバー）した論文を製作します。審査終了後、製本用の論文原稿を6部提出してください。

※製本論文には、本論文の他、論文要旨および英文要旨または英文アブストラクトを含めるものとします（謝辞の挿入は自由です）。

※提出部数は審査小委員会の構成人数によっては製本部数に変更となる場合があります。

※退学後3年以内の課程博士、論文博士の方の製本費用（約4,000円/冊）については、別途必要となりますので予めご了承ください。